

母校創立百年を迎えて

三中38回 折井久彦

わが母校京都府立三中が創立百年を向かえますことは、大変喜ばしいことで、卒業生の一人として心からお祝を申し上げますと思います。

百年の歴史の流れの中で、私が在学していたのは、昭和十七年から二十二年の五年間でありましたが、この五年間の中学生時代は、私の人生にとって忘れることの出来ない、深く刻まれた、思いの五年間でありました。

昭和十六年の十二月に始まった大東亜戦争（太平洋戦争）の翌年に三中加入し、戦中戦後の五年間を過ごしたことは、拾代半ばの中学生には、強烈な印象として残っているからであります。

私は、この八月（平成十七年）で満七十六歳になりますが、七十六年を振り返ってみて、あの三中時代（十三歳から十八歳）体験したことが、今日まで生きてきた大きなエネルギーの基になっていると言っても過言ではないからです。

当時の三中のカラーを象徴する藤森勝郎校長先生は、平和主義者であります。軍からの指導で中学生は登下校の際には、ゲートルを巻いて登下校する様にとの通達も最後まで、ゲートルを巻かずにフリーなスタイルで登校していたことを覚えている。

その為に、睨まれたのかも知れないが、三中は学徒動員に愛知県半田市の中島飛行機に行かされる事になったと、言う噂も聞いたことがある。

昭和十九年七月京都駅から、大勢の父兄や学校関係者の方々に見送られ、その時は、修学旅行にでも行く様な気持ちで、出発したが、着いたところは、愛知県半田市乙川という田舎の駅、そこから山手の方に向かって三キロほど歩いて、我々の住む宿舍の新池寮に入ったのです。

新池寮は十五室に区切られた、長屋が、十二棟ぐらい並ん

でいて、手前の棟から、第一中隊・第二中隊・・・と、三中の学徒は第八中隊、第九中隊、第十中隊の三棟が割り当てられていた。部屋に入ると、蚤がものすごく居て、畳の上に裸足で立つと、下から、蚤がぞろぞろ這い上がってくるのには驚いた。そして、最初の一夜は一晚中蚤と蚊の襲撃に、戦いながらの一夜だったことも覚えていた。

工場での仕事は、彩雲と言う海軍の新鋭偵察機を作る6号棟工場。夫々各組別に分かれた仕事場に配属が決められた。

現場の行員さんからは学徒には優しく、電気ドリルの使い方や、エヤーハンマーの使い方、リベットの打ち方等を教えてもらい、少しずつ作業をする事を覚えたのである。

かくして、スタートした半田暮らしも、二ヶ月も経つと長らく、親元を離れて暮らしたことの無い我々にとっては、最初の元氣はどこへやら、ホームシックに罹るものが出てきた。

先生方も、何とか帰してやりたいと、苦勞された事と思えます、やっと数人づつ順番で数日間だけ、京都へ帰れる様にする事が決まり、その順番が回ってきた時は嬉しくて、当日は早朝暗いうちに逃げるようにして出て行った。乗車駅は乙川駅ではなく一つ先の亀崎駅まで早足で歩いていった事が思い出される。

当時の先生方の暖かい思いやりのお気持ち、今でも心に沁みる思いです。

ホームシックも一度帰へしてもらうと二度目までは、少し長持ちする。そして、二度目からは。余裕もでて、帰る日が決まると、土地の農家が作っている切干大根を土産に買って帰った。母親から「おまえにしてはよく気がまわったな!」とほめられたが、子供ながらにも、生きてゆくことの知恵がひとりに授かったのかもしれない。

こうして、この年も終わりに近づいた十二月七日の午後、全く予期せぬ、あの東南海大地震が発生したのです。私たちの工場もすごい揺れがひどく命からがら逃げ出しましたが、上級生が作業している山方工場では、十三人がレンガの下敷きになって亡くなられたのです。真に痛ましい大惨事でした。

年が明けた、一月にも何回となく余震が続き、飛行機生産にも大きな影響がありました。が、戦争中のことですから、大きく報道されることはありませんでした。

負けるべくして負けたこの戦争、八月の終戦によって、一年一ヶ月間の半田での動員生活も終わり、京都に帰ってきたので

These two methods are used to determine the concentration of a solution. The first method is called titration and the second method is called gravimetry. Titration is a process in which a known volume of a solution of known concentration is reacted with a known volume of a solution of unknown concentration. The reaction is monitored by a color change or a change in pH. Gravimetry is a process in which a known mass of a substance is reacted with a known mass of a substance of unknown concentration. The reaction is monitored by a change in mass.

There are many different types of titration and gravimetry. Some of the most common are acid-base titration, redox titration, and precipitation titration. Acid-base titration is used to determine the concentration of an acid or a base. Redox titration is used to determine the concentration of a reducing agent or an oxidizing agent. Precipitation titration is used to determine the concentration of a precipitate.

References

1. [Titration](#), Wikipedia, the free encyclopedia.